



スタッフのつぶやき

サポートのスタッフが、読者の皆様に一言お話しさせていただくコーナーです。

いつもご愛読ありがとうございます。 原田@開発部です。

皆様は写真や動画を撮影するときに何を使われていますか？

今はスマートフォンで静止画も動画も綺麗に撮影できるのでデジタルカメラやビデオカメラを持って出掛けることも少なくなったと思います。

わたくしも子供が小さい頃は旅行や運動会の撮影用にデジタルカメラとビデオカメラを一緒に持って出掛けたものです。

最近では子供も大きくなりそれらの出番も少なくなってきたので去年GoProを購入しました。

オプションも豊富で自転車に取り付けて走ったりもできます。

アクションカメラなので小型で防水、少々手荒に扱っても問題ありませんし画角が広くて手軽に綺麗な映像が撮影できるので気に入ってます。

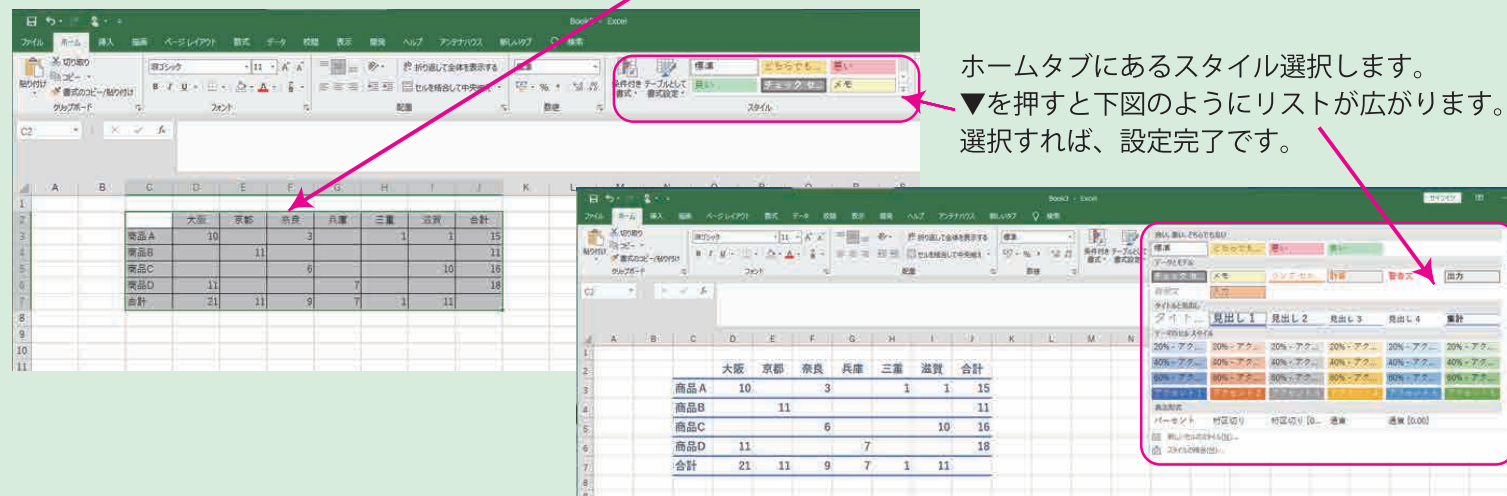
コロナ禍で出番が少ないのが残念ですが、気兼ねなく旅行できるようになったら色々な風景の動画を撮影してみたいと思います。

その前に撮り貯めた100本近いMiniDVビデオテープの整理をしなければいけないという現実は見ないことにします。

(開発部 原田 剛史)

Excelワンポイントテクニック 【パッと表の見栄えを調整】

今回のエクセルワンポイントは、作った表を見栄えよく調整したいけど、いちいち設定するのは…って時に便利な「スタイル」機能を紹介します。 設定したいセルを選択します。



TOPICS

IT 導入補助金の公募が始まりました

第1次締切分の日程は以下の通りです。

公募期間(交付申請期間) 2021年4月7日(水)～5月14日(金)17:00まで
 交付決定予定日 2021年6月15日(火)

第2次締切分は、7月中旬締切、8月中旬交付決定の予定です。 年内に何度も締切が設定されそうです。

- ◆通常枠は例年通りA類型とB類型が設定されます。
補助対象経費：ソフトウェア費、導入関連費、補助率：1/2、補助金額：A類型(30～150万円)、B類型(150～450万円)
- ◆特別枠として低感染リスク型ビジネス枠(C類型・D類型)が設けられます。
C-1類型…補助金額：30～300万円、C-2類型…補助金額：300～450万円、補助率2/3
対象：業務の非対面化を前提とし異なるプロセス間での情報共有や連携を行うことが出来る連携型ITツールの導入
D類型…補助金額：30～150万円、補助率2/3
対象：業務の非対面化およびクラウド対応を前提とし遠隔地での業務を可能とするITツールの導入
- ◆申請要件として、gBizIDプライムの取得と「SECURITY ACTION」の宣言が必須となります。(以下、参照)
gBizID…<https://gbiz-id.go.jp/top/>、SECURITY ACTION…<https://www.ipa.go.jp/security/security-action/mark/index.html>

読者 訪問



第136回

お伺いした会社	京都中央サトー製品販売株式会社
お話を伺った方	代表取締役 水上 一寿 様
会社の所在地	〒611-0042 京都府宇治市小倉町南堀池 32-9
連絡先など	TEL:0774-22-4796 FAX:0774-22-4895
メールアドレス	chuosato@image.ocn.ne.jp
事業内容	サトー製品の卸、小売販売

今回は、昨年の IT 導入補助金を活用して販売管理システム『**ビービービー30**』を導入された京都中央サトー製品販売（株）の水上社長様をお訪ねしました。

同社はハンドラベラーなどで有名なサトー（**SATO**）の製品をもっぱら取り扱っておられ、他社製品はほんの1割か2割程度の取扱いだそうでまさに社名通りの業態です。

水上社長は2代目だそうで、もともとはお父上がサトーのハンドラベラーを取り扱う会社に勤めておられて、その後独立されたのだそうです。



水上社長

ハンドラベラーとはスーパーなどで値札を小さなラベルに印字する機械で、サトーの製品は70～80%のシェアを占めるのだそうです。（左の写真参照）



ハンドラベラー

また、サトーではパソコンとつないでラベルを印字するラベルプリンターも各種揃えており、以前はパソコンと接続しないラベルプリンターが主流でしたが、これからはパソコンと連携するシステム商品としての販売が主流になっていくとおっしゃっていました。

同社では、ラベルやシールなどサプライ品（消耗品）の売上が70%ほどを占めるそうで、プリンターなどの機器は20%程度だそうです。必死になって新規開拓をしなくてもコンスタントに注文が来る消耗品の売上が70%も占めるというのはうらやましい限りです。



ラベルプリンター

以前はサトー製品の地域の代理店として、機器もサプライ品も幅広く取り扱っておられたそうですが、ネット販売が盛んになるにつれ、販売エリアという考え方がなくなり、代理店制度そのものがなくなってきたのだそうです。そこで、同社ではサプライ品の販売とラベルレイアウトの提案に力を入れます。昔は単純に金額をシールラベルに印字するだけでしたが、最近では、特に食品などではラベルに書いておかなければならない項目が増えてきて、手入力ではなかなか対応できなくなってきました。パソコンでラベルデータを作成してラベルプリンターで印字するということが必須となってきました。しかし、パソコンを使って複雑なラベル作成が出来ないところも多く、そのようなラベルの作成をサポートすることによって付加価値を高め、消耗品のリピートオーダーをしっかりと確保なさっておられるのだそうです。



ラベル自動貼付機

同社は昨年、IT 導入補助金を活用してシステムの更新をされました。以前から『**ビービービー**』をお使いいただいていたのですが、更なる機能強化と使い勝手の向上のため、『**ビービービー30**』を導入されました。「更新をどうしようかと思っていたけど、補助金様々でうまくリプレースすることが出来た」と喜んでいただきました。

シールラベルは和菓子や漬物、佃煮などの名産品には必須のアイテムですが、コロナ禍においてそれら名産品等の売上が減少したことに伴い、ラベルの売上も3～4割程度減ってきたとのこと。

これからは消耗品だけに頼るのではなく、ラベル自動貼付機などを組合せたシステム販売にも力を入れ、ユーザーサポートを強みにしっかりとした売上基盤を作っていきたいとおっしゃっていました。

消耗品売上をベースに高付加価値商品の販売にも尽力され、ご発展されることを祈っております。

（米田）



いっちょかみ

“一丁啮”が行く！

第150回：世界最軽量ノートパソコン

先月、このコーナーでノートパソコンのバッテリーがへばってきたことを書きました。そんな記事を書いているうちに、以前から欲しい欲しいと思っていた世界最軽量の富士通のノートパソコンを、なんと衝動買いしてしまいました。



重さ634gという軽さ。まるでノートパソコンの筐体だけ持っているような感覚に襲われます。

最近は何のせいか、重いカバンを持ち歩くのが辛く、使っていた Surface が結構重かったので、少しでも軽いパソコンにしたいと思って

いたときに目に入った富士通のパソコン。BTOタイプなのでCPUやメモリーなど好き勝手にアレンジして購入しました。補助金を使って会社で買おうかとも思いましたが、かなりオーバースペック（CPU Core i7、メモリー 32GB、SSD 512GB）なものにしたので補助金の対象にもなりにくく、この1年ほとんど祇園をうろついてなくて少し懐具合も良くなっているので、清水の舞台から飛び降りる思いで個人で買いました。（20万円以上しました🙄）

少し納期はかかりましたがやがて届きました。確かに手に取ってみると軽い！この軽さで高性能。社内で見せびらかしてしまいました。🙄

しかし一つ大きな問題が。前に使っていた Surface のバッテリーの持ち時間が短くなってきていることも買替えの動機だったのですが、この新しいパソコン、バッテリーが2～3時間ほどしか持たないのです。カタログスペックでは11時間と書いてあるんですが……

まあ、11時間はともかくとしてもせめて5時間くらいは持って欲しいんですが、2時間とはあまりにも短すぎる。いくらハイスペックにしたといってもあまりにも短すぎます。富士通のサービスセンターに問い合わせたら、そんなもんだと言うんですがちょっとおかしいと思いませんか？

編集後記

高齢者へのワクチン投与が始まりました。しかし医療従事者でもまだワクチンを打ててない人がいるとのこと、おかしいですね。いま最大の問題は医療現場のひっ迫です。ベッドは増やせても医師や看護師が足りないという。コロナ病棟での勤務を嫌がる人がいる中で、まずは医療従事者すべてにワクチンを接種し、少しでもコロナ病棟の人員を確保することが重要ではないでしょうか。